

## 数字で見る高等学校

### ①中学校卒業者数（122万8千人）のうち高等学校等（※）への進学者数

：120万4千人

※高等学校（通信制課程含）・中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部

### ②高等学校等進学率：98%、就職率：0.4%

※高等学校への進学率：戦後の高度成長期に急速に上昇【昭和29年（初めて50%超）、昭和40年（70%超）、昭和45年（80%超）、昭和49年（90%超）、平成22年（98%）】

### ③高等学校数：5,116校（国立：15校、公立：3,780校、私立：1,321校）

### ④生徒数：355万6千人

※全日制：325万2千人、定時制：11万6千人、通信制：18万8千人

※この他、中等教育学校：48校、生徒数（前期課程1万4千人、後期課程9千人）

※生徒数の多い順に、普通科（約72.3%）、工業科（7.9%）、商業科（6.6%）、総合学科（5.1%）

### ⑤不登校生徒数：5万3千人（1.7%）

※全日制（1.2%）、定時制（14.5%）（%は全生徒数に占める割合）

### ⑥中退者数：5万3千人（1.7%）

※1 全日制（1.3%）、定時制（11.4%）

※2 中退理由（「学校生活・学業不適応」：39%、「進路変更」：34%）

### ⑦高等学校卒業者（106万9千人）の卒業後の進路

※大学等進学者数：58万1千人、専門学校進学者：17万人、

専修学校一般課程：6万8千人、公共職業能力開発施設等入学者：8千人、

就職者：16万7千人、一時的な職に就いた者：1万6千人、左記以外の者：6万人

### ⑧大学進学率：54.3%、専門学校への進学率：15.9% 計70.2%

### ⑨就職率：15.8%

### ⑩国際比較をした場合の学力の順位

・読解力：65カ国中8位（PISA2009年調査）

・数学的リテラシー：65カ国中9位（PISA2003年調査）

・科学的リテラシー：65カ国中5位（PISA2009年調査）

### ⑪国際比較をした場合の興味指数の順位

・数学的リテラシー：40カ国中40位（PISA2003年調査）

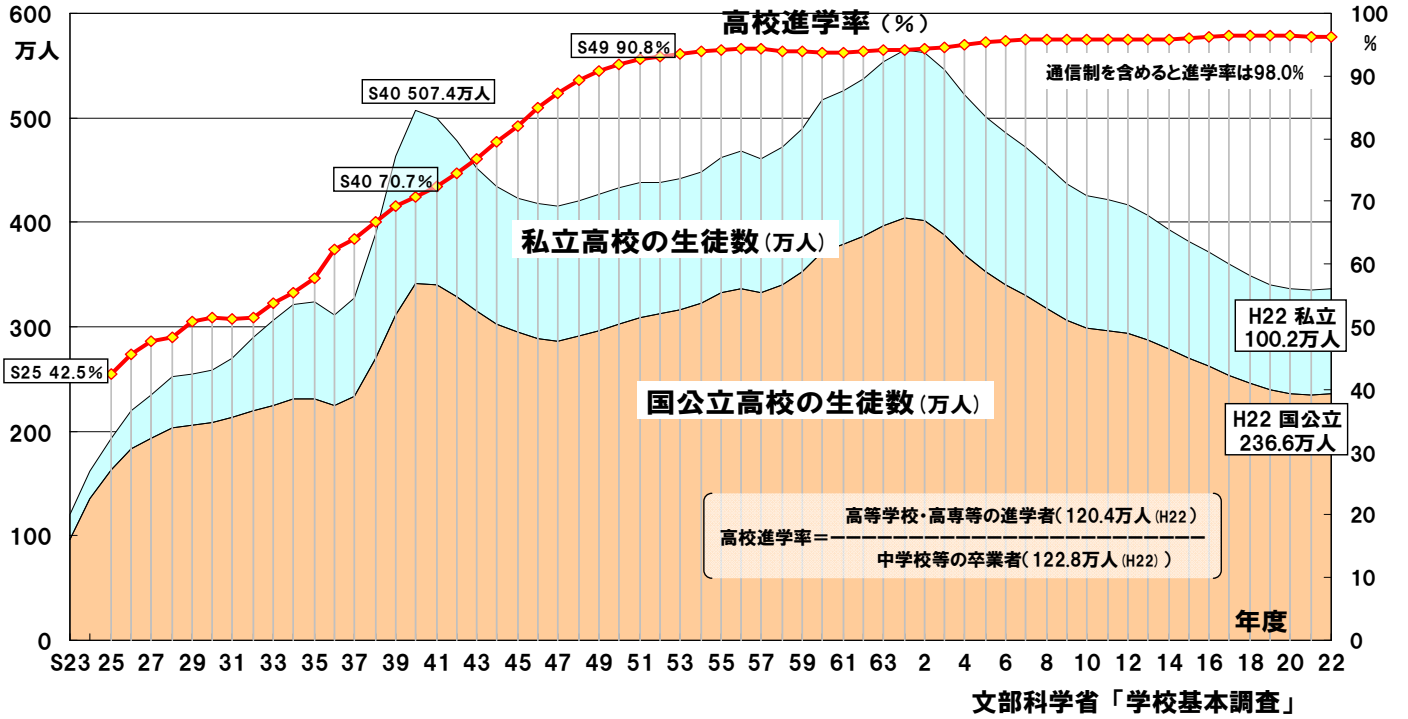
・科学リテラシー：57カ国中47位（PISA2006年調査）

・興味として読書する生徒の割合：65カ国中59位（PISA2009年調査）

# 高等学校等への進学率[推移]

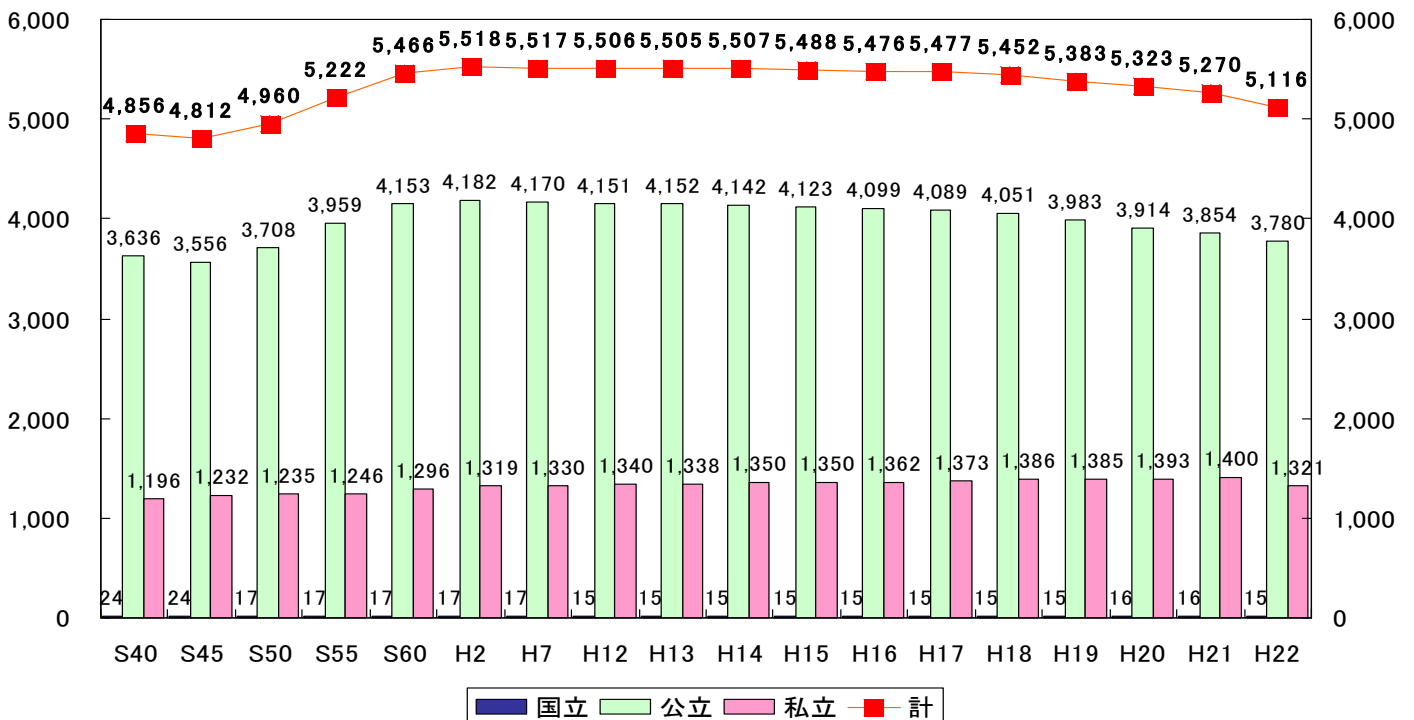
高等学校等への進学率は着実に向上し、昭和49年度に90%を超えた

(国公私立の全日制・定時制の計)



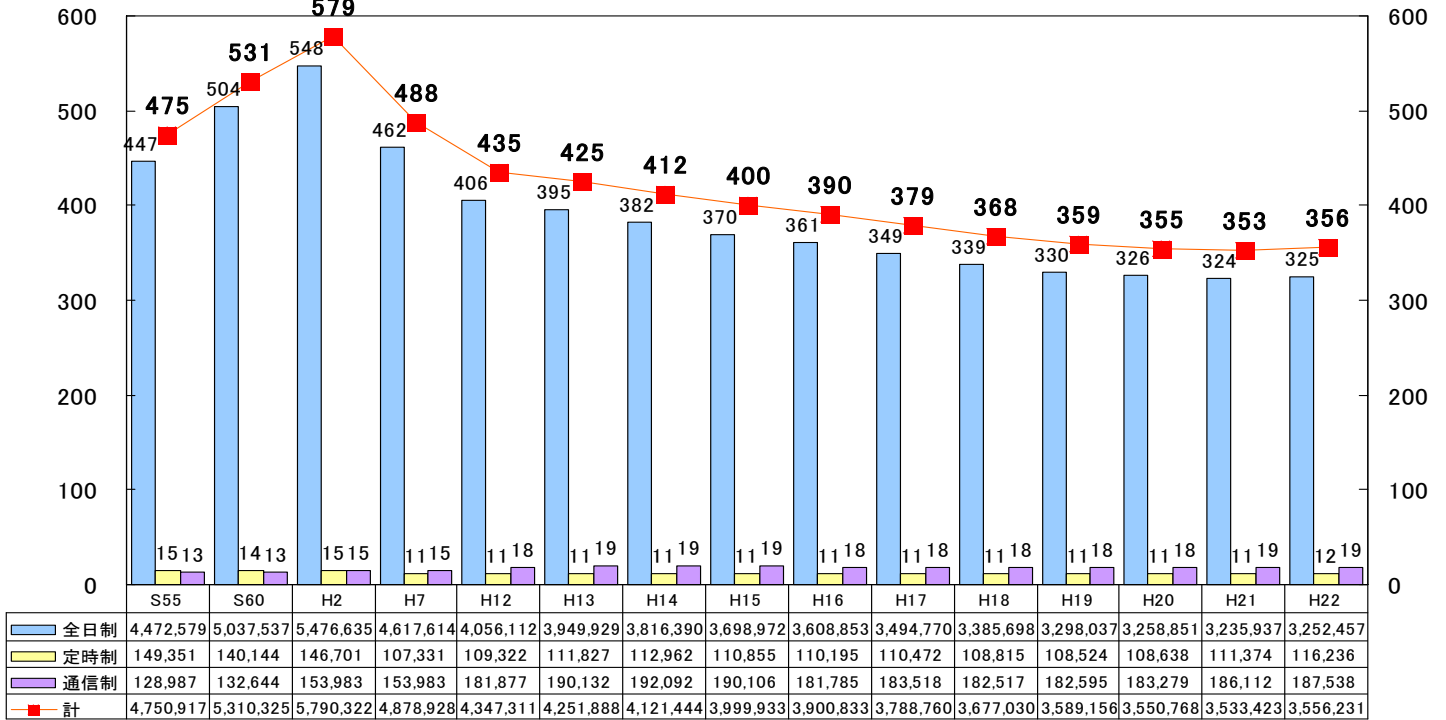
# 学校数 [推移]

学校数(校)



# 生徒数 [推移]

生徒数(万人)

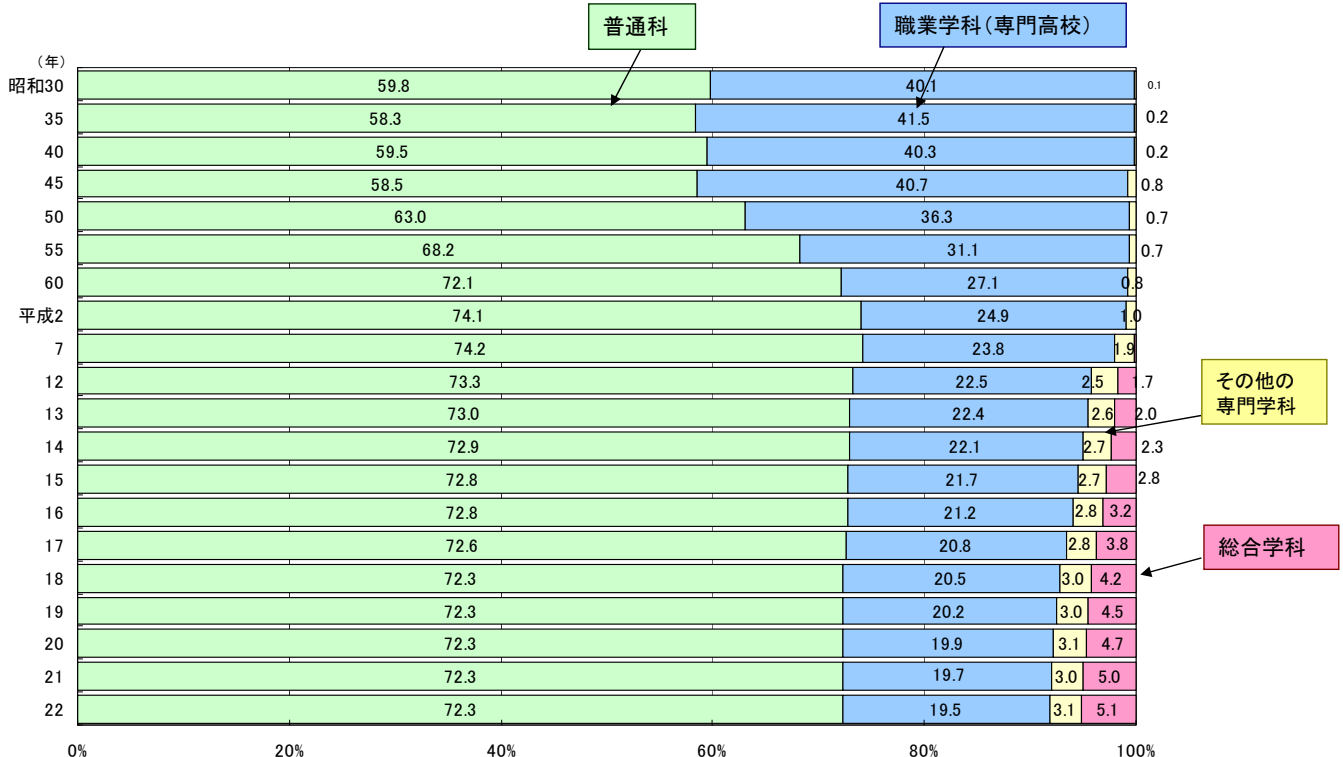


■ 全日制 ■ 定時制 ■ 通信制 ■ 計

文部科学省「学校基本調査」

# 学科別生徒数の構成割合[推移]

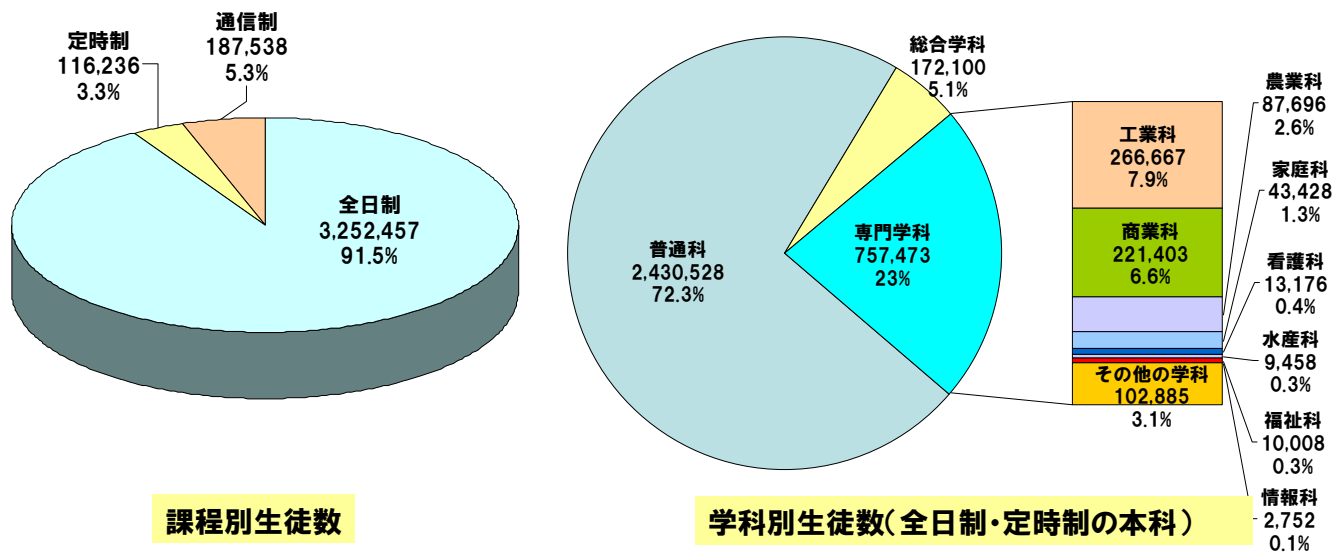
職業学科の比率は年々減少。普通科は最近20年間、ほぼ一定(約7割)で推移



※総合学科は平成6年度より制度化。「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。

文部科学省「学校基本調査」

## 課程別・学科別生徒数（内訳）



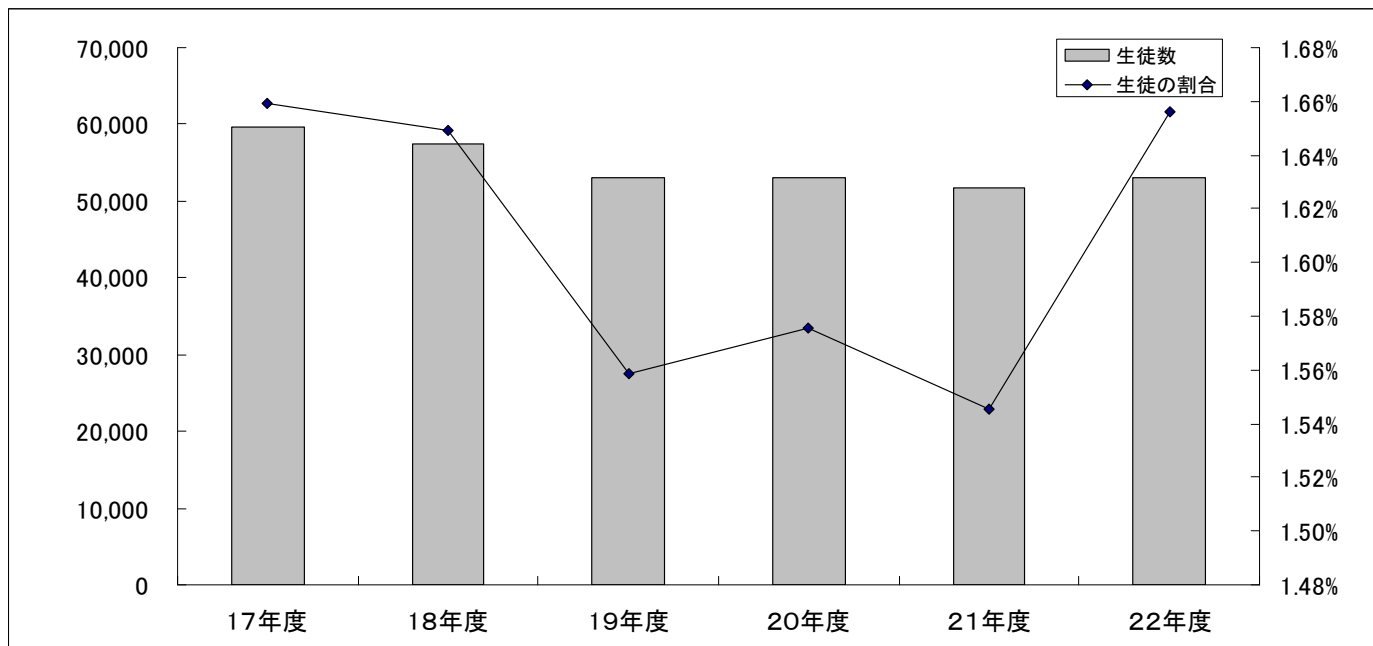
全日制課程：通常の課程、修業年限3年  
 定時制課程：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程、修業年限3年以上  
 通信制課程：通信による教育を行う課程、修業年限3年以上

文部科学省「学校基本調査」

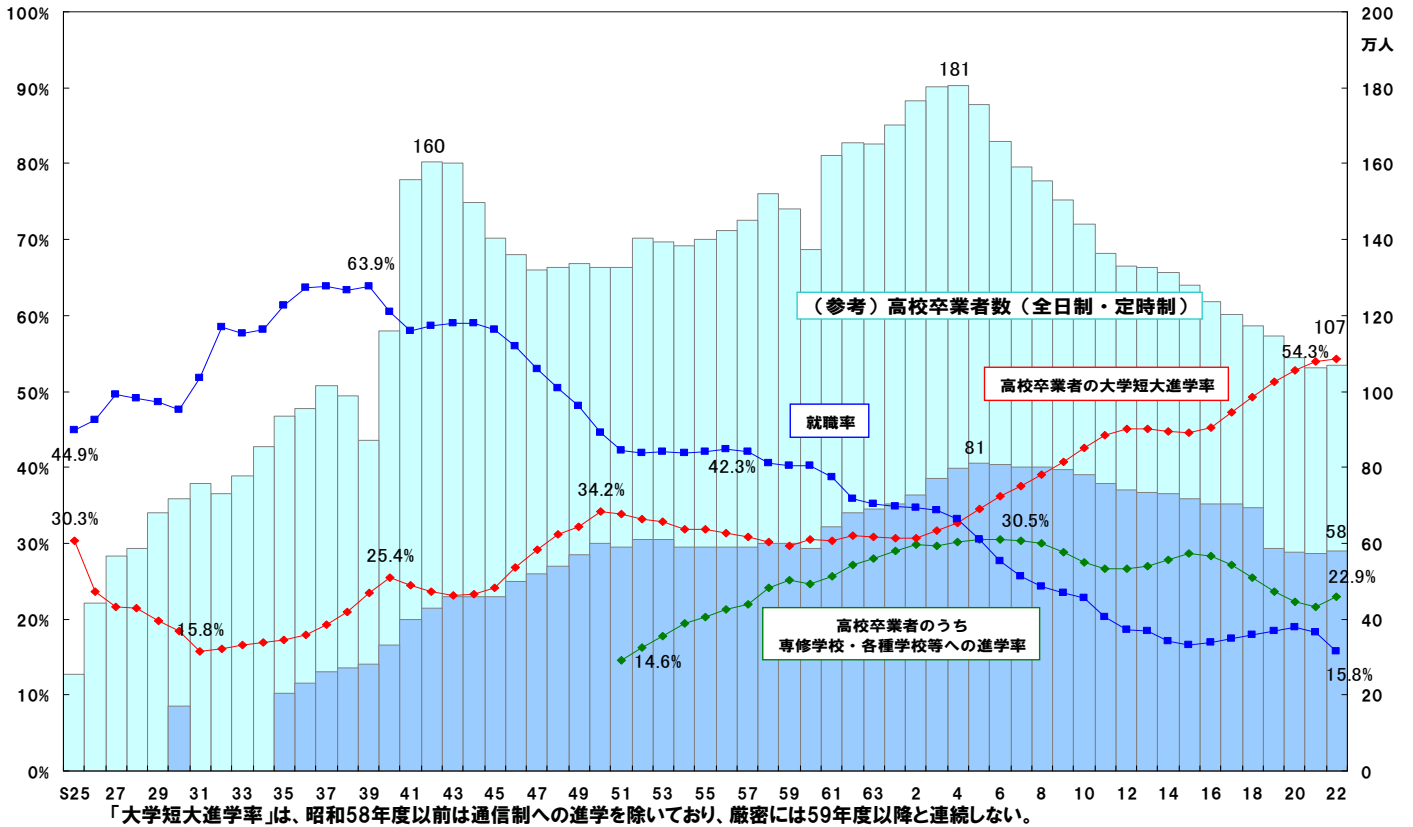
5

## 高等学校における不登校生徒数の推移

○ 不登校生徒在籍学校は全体のうち83%、不登校生徒数は253,084人で、全体の1.66%を占めている。



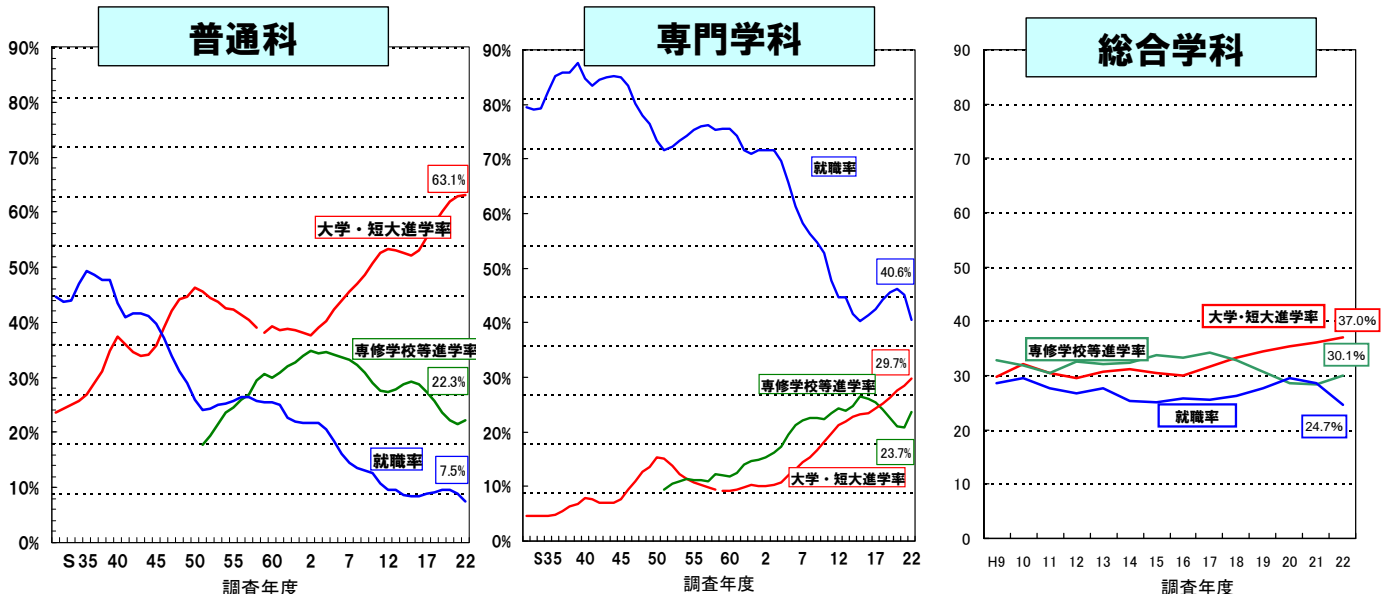
# 高等学校卒業者の進路 [推移]



文部科学省「学校基本調査」

## 高等学校卒業者の進路の推移 (普通科・専門学科・総合学科別)

普通科、専門学科ともに大学・短大進学率が上昇している。  
専門学科卒業生の進路では、依然として就職する者が最も多い。



※ 全日制・定時制のみ

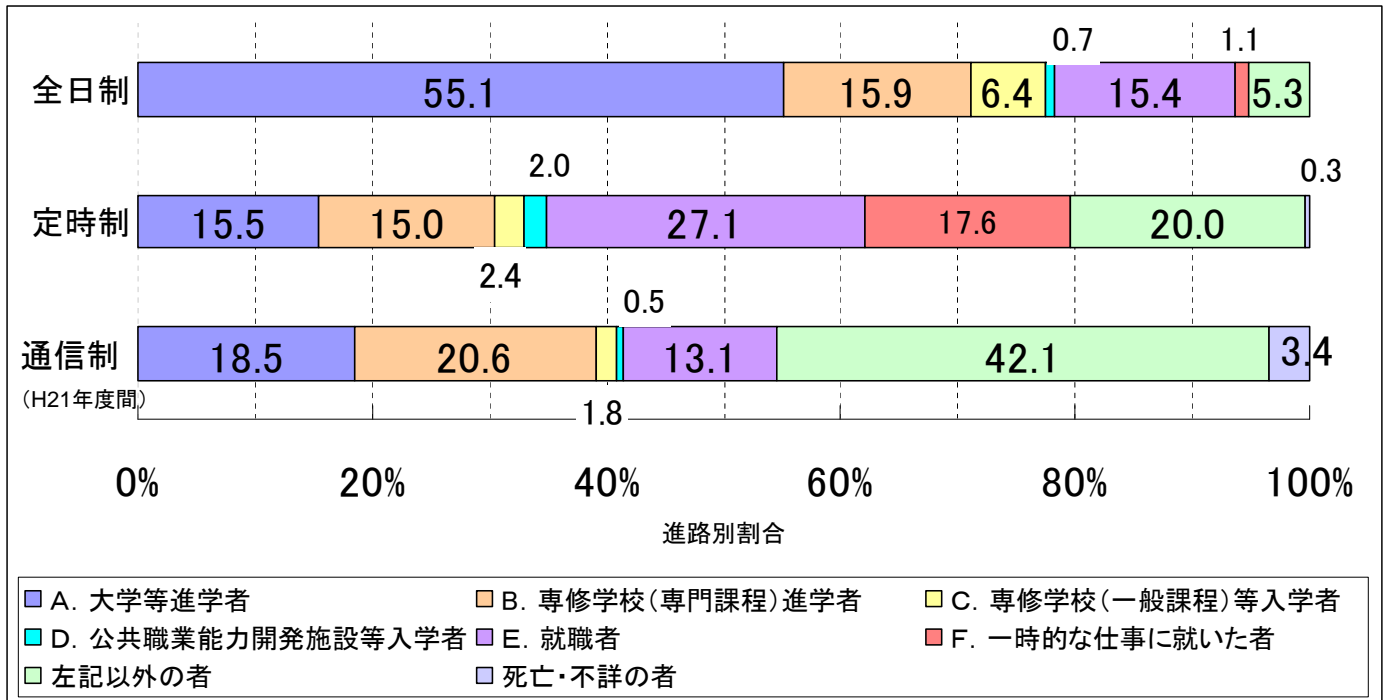
※ 専門学科は「職業学科」と「その他の学科」の合計

※ 「専修学校等」は、専修学校専門課程、専修学校一般課程、公共職業能力開発施設等を指す。

※ 「大学短大進学率」は、昭和58年度以前は通信制への進学を除いており、厳密には昭和59年度以降と連続しない。

(出典)文部科学省「学校基本調査」

## 高等学校卒業後の進路(課程別)



※全日制及び定時制課程については各年5月1日現在の状況を、通信制課程においては当該年度間の卒業生についての状況についての集計。  
 ※「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校に入学した者又はA～Fの各項目に該当しない者で、進路が未定であることが明らかな者をいう。ただし、通信制においては「一時的な仕事に就いた者」という調査項目はない。

(出典) 文部科学省「学校基本調査(平成22年度)」